



AA日本ニューズレター

NPO法人AA日本ゼネラルサービス(JSO)

No.163

■ AA日本40周年記念集會に寄せて メインテーマ:「まだ出会っていない仲間たちへ」

AA 40周年記念集會ロゴマーク

2012年3月11日に実行委員会が立ち上がり、ここまで2年近く活動を続けてきて、気がつけば記念集會まで、あと1年あまりとなりました。思えば、まったく先が読めない状況でスタートし、どうなることやらと不安でいっぱいでしたが、経験豊富な先行く仲間と一緒にサービスをやってきた仲間、実行委員会に参加してくれている仲間、そして何よりも全国の仲間の助けにより、ここまで来ることができました。



※2013年11月23日の第16回実行委員会でポスターとロゴマークが決まりました。今回、ロゴマークは公開できましたが、ポスターは、現在、最後の修正、確認作業をしています。もう少しお待ちください。

実行委員長 仲嶋

今回の記念集會は、これまでのチケット方式で開催費用を賄うやり方ではなく、全国のグループの献金によって開催費用を積み立てていくということになりました。当初この案が出されたとき、私自身は「そんなこと無理だろう。なぜ今まで通りにしないんだ」と、否定的な考えでした。しかし、実行委員会全体の空気は違いました。多くの委員がこの案に賛同して、このやり方をしてみたいという意見がかなり見られました。結局、実行委員会だけで決めるのではなく、全国のグループの意見も聞いてみたいということでアンケートを実施することになりました。このアンケートで、各グループからさまざまな意見を頂き、結果もチケット方式の方が若干多かったのですが、ほぼ2分しているような状態でした。このアンケート結果を見て献金方式を支持してきた委員もさすがに慎重になったようで、最終決定をした実行委員会では献金方式に対する迷いが多かったように思います。しかし、採決をした結果は献金方式を支持する委員が3分の2を超え献金方式ということになりました。なぜそのような結果になったかと言われれば、それは献金方式に対する熱い思いが、実行委員会全体を動かし、このような結果を生んだんだと思います。「誰もが参加できる集會にしたい」「この方式がうまく行けば、まだ記念集會を開催していない地域でも開催しやすくなるのではないか」。そんな思いが結実したのだと思います。私も次第に、この熱い思いに動かされ、結果はどうであれやってみようという気になりました。

献金がスタートして半年ほどたちましたが、おかげさまで献金は順調です。これは、考えは違っても一度決まったことには協力しようという、一体性を重んじるグループの皆様の暖かいご支援の賜物だと思っています。集まった献金は無駄のないよう大切に使用させていただきます。

次にテーマは「まだ出会っていない仲間たちへ」です。この「出会っていない仲間たち」とは誰を指すのでしょうか。遠く離れて暮らす

見知らぬ仲間たちやまだ苦しんでいる仲間たち、そしてこれから生まれてくるであろう未来の仲間たちといろいろな仲間が考えられます。いずれにしても、これらの仲間を結びつけるものは「アルコールイズム」という病気です。このテーマにはアルコールイズムという病気に苦しむすべての人たちにAAを知ってもらい、一緒に回復していきたいという思いが込められていると思います。

今回、献金方式での開催ということになり家族や関係者をはじめ広く一般の方たちも参加しやすくなったということで、AAを知ってもらえる大きな機会になると思います。メンバーだけでなく、多くの家族や関係者、この問題に関心のある方に参加して頂ければと思います。

現在、ポスター、ロゴマークが決定し、具体的なプログラムの検討に入っています。記念集會は日本のAA全体で盛り上げるものから、多くのグループ、仲間が参加したくなるプログラムを考えていきます。AAを知ってもらう最良の方法は、私たちAAメンバーの回復している姿を見てもらうことです。ぜひ、一緒に盛り上げていきましょう。

それでは皆さん、
2015年2月、
横浜で会いましょう！



(次頁に「開催概要」「プログラム概要」)

開催概要

開催日時：2015年2月20日（金）・21日（土）・22日（日）

開催場所：神奈川県民ホール、横浜市開港記念会館

（神奈川県横浜市）

メインテーマ：「まだ出会っていない仲間たちへ」

主催：特定非営利活動法人 AA 日本ゼネラルサービス（JSO）

<神奈川県民ホール>



<横浜市開港記念会館>



プログラム概要

オープニングセレモニー、フラッグ行進、カウントアップ、ビッグミーティング、各種ミーティング（ステップ、伝統、概念、女性、ヤング、マイノリティー等）、国際ミーティング、JSO 企画広報シンポジウムなど、現在、実行委員会にて協議、検討中。来年のニューズレターで再度40周年特集があります。その時には詳細にお伝えします。乞うご期待！

各地域担当の出し物？ミーティング？もあるかも。その時はどうかご協力をお願い致します！

40周年記念集会のロゴマーク・ポスターデザインが決定 広報小委員会 櫻井

11月23日の実行委員会にて 伝統に則った方法で投票を行い採用作品を決定いたしました。

約半年の公募期間中、全国からポスター47/ロゴマーク20点の応募作品が集まり、投票を前に全作品を掲示したのですが、何れも手間暇のかかった素晴らしい出来映えで、色合いも美しく当日の会場は、とても華やかでした。やって来た仲間達は荷物を置くのも忘れて立ち止まっては感想を述べあっていました。

ウキウキと和やかではありましたが、厳正な投票を行い作品を決定しました。多くの中からただ一点を選ぶ責任を味わいながらも私たちの呼び掛けに応じてくれる仲間を身近に感じられた時間でした。

ロゴマークとポスター(2月公開)は、集会終了まで全国のみならず世界中を飛び回ります！どうぞ可愛がってください。

■各地域より

第5回AA全国矯正・保護施設 メッセージフォーラムを終えて

実行委員長 石井

福島県郡山市で開催されたAA全国矯正・保護施設メッセージフォーラムは、全国から多くの皆様方の参加をいただいて、11月16、17日両日無事終了することが出来ました。

拙い実行委員長を陰で支え、奮闘して下さいた多くのAAメンバーと実行委員会のメンバー、そして多くの関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

東北の矯正・保護施設委員会はその活動として、何度か郵送による東北地域内の矯正・保護施設へのメッセージ活動を行っていましたが、施設内への実際のメッセージという動きにはなかなか出来ていませんでした。何がどう悪いのか・・・委員会でも話し合いもしましたが結論はせず、委員会活動を一時中止する時期もありました。幸いにその2ヵ月後に宮城刑務所からメッセージ依頼をいただき、委員会活動の再開となり、その後、数は少ないのですが東北でも幾度かの施設内にメッセージに参加する機会をいただけてきています。しかしながら、私達は矯正・保護施設へのメッセージは、他の地域での多くのメンバーの方々の経験の分かち合いと関係者の方々からの学びがより重要であることを感じるようになり、東北でもAA全国矯正・保護施設メッセージフォーラムを開催したいと考えようになりました。

東北地域のメンバーの関心を盛り上げるために東北地域矯正・保護の分かち合い（仲間みみの集い）を3年前に開催し、その後AA全国矯正・保護施設メッセージフォーラムに立候補、そうした準備期間を経て、念願のAA全国矯正・保護施設メッセージフォーラムを今回開催することが出来ました。ただ3年という月日は長い期間でもあり、実行委員会のメンバーの交代も激しく、今年になりメンバー数が一時激減し、開催実現に一抔の不安を感じる時もありました。私自身も途中から急きょ実行委員長をやらせていただくことになりました。どのAAのイベントも開催までスムーズにというわけにはいかないということは今まで多く経験して来ましたが、今回も連絡の不備から開催日の変更やなかなか会場が決まらないことで、ご協力下さる関係者の方々や、A類・B類の常任理事の方々にもたいそうご心配をおかけしてしまいました。けれど地元の熱意ある仲

間たちの素晴らしい働きと理事や他地域の仲間の皆さまの応援のお陰で少しずつ準備が整えられました。

そして11月16日は関係者6名・メンバー33名、翌17日は関係者23名・メンバー約40名と予想以上の多くの方々のご参加をいただきました。小さめの会場のせいもあったかもしれませんが、参加下さった方々の思いが熱く伝わる良いフォーラムになったと思います。私達が望んでいた、関係者の方々との接点をどう取っていったらよいのか？についても多くの視点と具体的な行動のアドバイスを関係者の方々からもいただくことが出来ました。

こうした経験をふまえて今回のテーマでもあった『新しい旅立ち』が私達東北にも訪れ、東北の矯正・保護委員会活動もより多くの仲間の皆さんとともに活動を広げていきたいと思えます。閉会の挨拶では感謝と感動で胸がつまり思うように言葉も出ませんでした。重ねて多くの皆さまに深くお礼を申し上げます。

矯正・保護施設担当 常任理事 星

2013年11月16日(土)・17日(日)と、2日間にわたって、郡山で全国矯正・保護施設フォーラムが開催されたことは、ご存じのメンバーも多いでしょう。初日は、実行委員会主催の各地域の現状や経験の分かち合いを中心としたもので、2日目はパブリック・ミーティングとしてNPO法人AAゼネラルサービスが主催するものとして行われました。

東北地域は、矯正・保護施設メッセージに本格的に取り組もうとしているところで、現在のところ宮城刑務所に年1回程度メッセージが入っている状態です。ところが、私も今回初めて知ったのですが、矯正・保護施設メッセージへの取り組みはずいぶん早く始まったそうで、20年ぐらい前から取り組んでいたそうです。それが、個人としての努力が中心だったためなのか、施設側の壁が高かったせいなのか、なかなか実際の成果として結実していなかった、というのが実情だったそうです。ですから、地域の委員会が立ち上がるのも早く、今回の矯正・保護施設フォーラムもかなりの意気込みをもって取り組んでいただいたそうなのです。

初日の土曜日は、13時半から始まることを、実行委員だけではなく、地域のメンバーが手伝って午前中から準備を始めてくれたのには、感謝の言葉もありません。ただ、惜しむらくは私が知っているだけでも3地域が重なる時期に地域集会を行う、ということからか、どなたも来られなかった地域があったのは残念でした。ですから、各地域の経験の分かち合いを行う、というものなかなか大変だったと思います。その中で、個人としての経験や、地域での現状などを分かち合っていただけでした。あまり期待していなかった関係者の方にまで、5名ほどいらしていただきました。予定していた関係者の話は、1名だけだったのですが、せっかく来ていただいたということで、ほかの関係者の方にも短い時間ですが話していただけたのはうれしいことでした。その中で、特筆すべきは、弁護士の方が関心を持って来ていただいたということで、実行委員会が案内

状を弁護士さんの手の届くところにまで配っていただけた努力には頭が下がりました。

2日目は、いかにもパブリック・ミーティングらしく、関係者の方にもかなり来ていただきました。関係者席を設けたのですが、一般席の方にまで回っていただかなくてはなりません。総勢20名強なのですが、メンバーを含めた出席者が80名ほどの中で、大勢の関係者の方に熱心に聞いていただけたのは望外の喜びでした。私たちのメッセージ活動にとって必要なのは、私たち自身の努力だけではなく、やはりメッセージを伝えようとする周辺におられる関係者の存在ではないでしょうか？特に、矯正・保護施設メッセージについては、その傾向が強いと感じています。メッセージがこれから、という東北の地で関係者がこれほど関心を抱いてくれている、それは逆の意味で大きなメッセージとなったのではないのでしょうか？

それと同時に、改めて今までのメッセージ活動が実を結んできているな、という感触をも得られました。矯正・保護施設の関係者は、数年ごとに転任されるのが実情で、せっかく理解していただけても次の方につながらない、というのがメッセージをしようとする私たちにとっては障害となってきていました。ところが、逆に言えば、今までメッセージが入るのに行き詰まっていたところにAAのことをよくご存じの関係者の方に来ていただいていることもある、ということです。私たちが全国のあちこちでメッセージを入れたい、という努力を続けて行きさえすれば、そこにちょうどAAの良き友人たる関係者がいらっしやる、ということも十分あるということです。今回、矯正・保護施設フォーラムのシンポジウムのパネラーを務めていただいた方の中にも、そういう方がおられて、私たちにその気があれば何らかの形でメッセージにつながるかな、と感じさせられたこともありました。

矯正・保護施設メッセージの初期の頃(1990年代後期)とは異なって、今では全国でも20ほどの矯正施設にメッセージが入っています。保護施設にも15ヶ所ぐらいメッセージが入っています。そのほかにも、矯正・保護施設とは言えないかもしれませんが、医療保護観察病棟に数ヶ所入っています。そういう現在であれば、どこから手をつけていいのかわからない、ということは少なくなっていると思います。伝統6(協力すれども、従属せず)に気をつけながら、増えてきたAAの友人たちのお力を借りながらメッセージにつなげていく工夫も、私たちの側からすべきことの一つでしょう。

今回の矯正・保護施設フォーラムに身を置きながら、私自身のメッセージの経験とどのように関係づけていくか、と考えてみました。基調講演で良き友人の一人が語ってくださったとおり、各地域で開かれる矯正・保護施設フォーラムが良いきっかけ作りとなってきている、そこから始まったというメッセージも数多いと聞いています。けれども、それだけではなく、私たちの行っていることは広い意味での広報活動でもあるのです。施設内のアルコールに問題がある人にとってのメッセージだけではなく、私たちのメッセージ活動は、同時に彼らの周辺にい

る関係者に対してもAAの必要性を感じていってもらうことにもなっています。そのようにして、AAの良き友人が増えていったから相談できる相手も増えてきているのだな、と感じさせてもらいました。

医療関係者のみならず、矯正・保護施設関係者の中にも、AAの友人になっていただける方たちがかなりいることを今まで感じてきました。そういう方を増やしていくことが、広い意味でのメッセージにもなっていると思います。ポツポツと矯正・保護施設メッセージを受けた人の中から、AAにつながったというメンバーも出始めています。それは、AAの友人がそれだけ増えてきているからかもしれません。欧米と同じ形ではなくても、そういう現象が現れてきている以上、私たちの努力は報われてきているのではないのでしょうか？

■ アノニミティについて

『ドクター・ボブと素敵な仲間たち』

「アノニミティのことですが、当時は、お互いに、どこのだれなのかを知っていましたよ。AA内のことだけでなく、社会生活にかんしてもそうでした。私たちは、生活のあらゆる場面で一緒に過ごしているようなものでしたから、新しい人を、アルコールを抜くために自宅に連れて帰ったこともあります。クリーブランド・グループでは、メンバー全員の氏名と住所、電話番号を確認していたのです。ドクター・ボブは、こんなことを言っていましたね。『私が立ち上がってドクター・ボブ・Sです、と名乗ったとしても、それだけでは、助けが必要な人が私に連絡をしようと思っても、きっと苦勞するだろう』と」

「ドクター・ボブは、アノニミティの伝統に違反する行為には、(1)印刷媒体やラジオなど公的レベルにおいて氏名を明かす場合と、(2)アノニミティを大事にするあまり、ほかの酔っぱらいが連絡をとろうと思ってもできない場合、のふたつがあると話していました」

伝統十一については、『グレープバイン』の一九六九年二月号に、カリフォルニア州サンマティオのD・Sが、ドクター・ボブの解説として書いた、つぎのような記事が掲載されている。

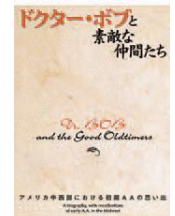
「アノニミティに関連する私たちの伝統は、その境界がどこで引かれるかについて、正確なレベルを明示している。だから、このレベルを無視してアノニミティを維持しようとする行為は、この伝統にたいする明白な侵害である。これは、ふつうに文章を読み、理解できる人なら、だれにでもわかるはずである」

「ファーストネーム(姓ではなく名前)だけを使って、自分の身元をほかのAAメンバーたちに明かさない人は、AAに関連して新聞紙上で個人名を明かす人と同じように、伝統に違反している。」

「前者は、印刷媒体・ラジオ・映画などのメディアのレベルを超えて、自分のアノニミティを守ろうとするものであり、後者は、それらのメディアのレベルよりも下のところで、自分のアノニミティを守ろうとするものである。ところが、私たちの伝統は、印刷媒体・ラジオ・映画などのレベルにおいて、自分のアノニミティを維持することを要請している」

『ドクター・ボブと素敵な仲間たち』険悪なうわさとグループの心配ごと
P.387～P.389より

AAの共同創始者ドクター・ボブの伝記。中西部におけるAA初期の回想が織り交ぜられている。この伝記を書くために発掘された膨大な歴史資料や、当時を知る人とのインタビュー記録、そしてAAの公式文献などとともに構成され、貴重な写真が26葉収録されている。『AA成年に達する』に触れられていないエピソードも満載。



2,940円

『ビルはこう思う』

中庸

AAの中には、途方もなくアノニミティを徹底させているところがあります。そのメンバーたちのコミュニケーションはとても乏しく、お互いの本名や住所さえも知らないほどです。まるで秘密結社のようなものです。

一方、まったく逆の現象が起きているところもあります。大物を装って、注目を集めようと「遊説」に出かけ、市民を前にしてがなりたてるAAメンバーを制止するのに一苦勞します。

しかし、このような両極端から徐々にその中間に行くようになるものなのです。たいていの遊説講演者たちは長続きしませんし、スーパー・アノニマスを通していた人たちもやがて隠れ家から出てきて、AAの仲間や職場の同僚やその他の人々と普通のかかわりを持つようになります。長期的に見れば、ちょうど中庸に落ち着いていきます。おそらくそこが私たちのいるべき場所なのでしょう。

『ビルはこう思う』中庸P.241より

AAの共同創始者ビルWの著作、手紙、講演、雑誌『AAグレープバイン』への寄稿などからの抜粋332編を収録。ビルが私たちに残してくれた珠玉の精選集。日々の黙想、ミーティング用に最適。



1,525円

編集・発行： NPO 法人 AA日本ゼネラルサービス (JSO)

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

http://www.aajapan.org jso-11@fol.hi-ho.ne.jp

(月～金) 10:00～18:00 (土・日・祝) 休